

キーワード：基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用

学力向上に向けた取組

函館市立恵山中学校

1 課題

- ・基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着と家庭学習の習慣化。
- ・表現力の育成と個に応じた指導の充実。

2 課題解決の具体策

長期休業中補習学習会の実施と家庭学習の手引の配付と家庭学習ノートの提出。
体験的・問題解決的な学習活動の展開と図書室の活用、全校読書週間の実施。

3 取組の概要

基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着と家庭学習の習慣化。

夏季・冬季休業中に各4日間、午前中3コマずつ数学・英語を中心に補習学習会を実施している。各学年ともTTによる指導体制で、コース別に生徒各自の進度に合わせた学習プリントを準備し、理解の不十分な点については個別に指導しながら学習を進め、確実な学力の定着を図っている。また、学習の進んでいる生徒に対しては、図書室で自習体制とし、各自が用意した問題集やワークブックをもとに学習をすすせるとともに、質問等があれば教科担当が対応するようにしている。



3年冬季補習学習会

家庭学習の習慣化については、家庭学習の手引を配付し家庭学習の仕方を指導するとともに、家庭学習ノートを準備させ、できるだけ毎日提出するよう指導している。

体験的・問題解決的な学習活動の展開と図書室の活用、全校読書週間の実施。

総合的な学習の時間を活用し、地域探訪学習（1年）や職場体験学習（2年）、修学旅行自己研修（3年）等、体験的・問題解決的な活動を取り入れるとともに、表現力の育成を図ることを目的として、発表する活動に重点をおいて体験学習発表会を実施している。また、全校読書活動を各学期1回（2週間）を実施し、図書に親しませるとともに、調べ学習等での図書館の活用にも取り組んでいる。



1年地域探訪発表会

4 成果と課題

補習学習への積極的な参加を働きかけるとともに、個の進度に応じた学習を進めることにより、生徒の学習に取り組もうとする意欲が高まった。

家庭学習の習慣化を図ることにより、家庭で学習に向かう生徒が増えつつあるが、熱心に取り組む生徒とそうではない生徒の差が大きくなってきている。家庭との連携・協力を一層推進していく必要がある。